

## PHASE プログラム 短期交流プログラム 令和4年度 募集要項

### 目 的：

- ①ケニアの辺縁地（長崎大学ケニア拠点フィールド）を訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを実体験する。
- ②体験に基づくプラネタリーヘルスを英語により議論ができるようになる。

### 実施期間：

令和5年3月7日（火）～3月17日（金）

### 実施方法：

ケニアでの実地研修

※PHASE プログラムより派遣される教員が引率します。

### 行 程：

別添1「行程表」

### シラバス：

別添2「PHASE プログラム 短期交流プログラム 令和4年度シラバス」

### 募集対象：

全学部・全研究科のすべての学生

### 募集人数：

5名

※応募者多数の場合は、担当教員による選考にて決定。

但し、オンライン交流プログラム参加者の採用を優先する

### 費 用：

#### PHASE プログラムから支弁

往復航空券（長崎⇄ナイロビ）、 JASSO 奨学金（成績要件あり）6万円、 OSSMA Plus 会費及び海外旅行保険料、 PCR 検査代（必要な参加者のみ）

#### 自己負担

宿泊費、生活費（食費など）、長崎⇄ナイロビ往復航空券以外の交通費、パスポート及びビザ取得にかかる費用

### 応募〆切：

令和4年12月9日（金）

### 応 募 先：

各所属学務係まで「1. 氏名（フリガナ）、2. 学籍番号、3. 所属学部・専攻、4. 学年、5. メールアドレス、6. TOEIC, IELTS, TOEFL iBT などのスコア」

PHASE プログラムとは・・・( <http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/phase-program/> )

文科省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された本学プログラム『プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム』。

日本とアフリカの学生による、地球規模の課題解決を目指した、学術交流プログラムです。

#### <目的>

地球の健康に関するアフリカとの機動的かつ戦略的の大学間ネットワークを構築し、日本とアフリカの架け橋となり、地球規模の課題解決に向けた協働活動を指導的な立場から展開できる人材の育成

別添1

行程表

日程		内 容	実施場所	宿泊先
【1日目】 3月7日（火）	移動	移動日（成田 22:30 発） 長崎→羽田/成田→ドバイ→ナイロビ		機中泊
【2日目】 3月8日（水）	移動	移動日（ジョモ・ケニヤッタ 13:45 着）		ナイロビ泊
【3日目】 3月9日（木）	移動	ナイロビ→クワレ フィールド活動	クワレ	クワレ泊
【4日目】 3月10日（金）		フィールド活動	クワレ	クワレ泊
【5日目】 3月11日（土）		フィールド活動	クワレ	クワレ泊
【6日目】 3月12日（日）		フィールド活動	クワレ	クワレ泊
【7日目】 3月13日（月）		フィールド活動	クワレ	クワレ泊
【8日目】 3月14日（火）	移動	フィールド活動 クワレ→ナイロビ	クワレ	ナイロビ泊
【9日目】 3月15日（水）	移動	移動日（ジョモ・ケニヤッタ 15:30 発） ナイロビ→ドバイ→成田		機中泊
【10日目】 3月16日（木）	移動	移動日（成田 17:20 着）		成田/羽田泊
【11日目】 3月17日（金）	移動	移動日 羽田→長崎		

※PHASEプログラムより派遣される教員が引率します。

## PHASEプログラム 短期交流プログラム 令和4年度シラバス

授業概要情報	担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko@nagasaki-u.ac.jp
	担当教員研究室/Instructor office	長崎大学熱帯医学研究所 ケニア拠点
	担当教員TEL/Tel	内線 7866
	担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00-18:00 (Wed)
	授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	PHASEプログラム短期研修は、PHASEプログラムへの導入部であり、アフリカに不慣れな学生が、環境・文化・社会の相違を理解し、地球の健康に関する学習と協力を共同して実施するための基礎情報を共有する場と位置付ける。オンライン交流プログラムにより、訪問前のケニア側学生との対話と情報共有を行った後、ケニアを10日間程度訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを体験する。
	授業到達目標/Course goals	ケニアの辺縁地（長崎大学ケニア拠点フィールド）を訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを体験し、体験に基づくプラネタリーヘルスを英語により議論ができるようになる。
	知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons	知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ■主体性/Autonomy ■汎用的能力/Generic Competence □倫理観/Ethics ■多様性の理解/Understanding Diversity ■協働性/Cooperativeness ■考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心/Interest in international / local society
	学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えたりする活動（質問への回答、授業内の小レポート、小テスト、振り返りシート、コメントシート、クリッカーなど） ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動（ペアワーク、グループワーク、ディベート、ディスカッションなど） □C.技能習得のために実践する活動（問題演習、体験学習、実験、実習、実技、フィールドワークなど） □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動（企画立案、論理的な解の提示、プロジェクト学習、卒業研究） □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法（自由記述） □F.教員からの講義のみで構成される
	成績評価の方法・基準等/Grading	ケニア研修への参加（50点）、ケニアでの討論（英語）への参加（50点）
	各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） /Class content and format	ケニアに渡航し、現場での体験をしながら、プラネタリーヘルスを考える。
	事前・事後学修の内容/Preparation & Review	オンライン交流への参加。
	キーワード/Key word	アフリカ、プラネタリーヘルス
	教科書・教材・参考書 /Textbook, Teaching material, and Reference book	河野茂（長崎大学学長）総監修 プラネタリーヘルス～私たちと地球の未来のために～
	受講要件（履修条件）/Prerequisites, etc.	ケニア渡航に関する準備
学生へのメッセージ/Message to students	ケニアに興味のある学生（英語力が必要）を待っています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) /Subject by teachers with practical experiences (Y/N)	Y	

No.	回（日時）	授業内容 class contents
1	3月7日	移動日
2	3月8日	移動日
3	3月9日	ケニアでの移動、フィールド体験 1
4	3月10日	フィールド体験2
5	3月11日	フィールド体験3
6	3月12日	フィールド体験4
7	3月13日	フィールド体験5
8	3月14日	フィールド体験6、ケニアでの移動
9	3月15日	移動日
10	3月16日	移動日
11	3月17日	移動日